

2023.07.29(土) 「まんが甲子園」に本県から唯一出場
 杜陵高美術・イラスト部【盛岡タイムス】

「まんが甲子園」に本県から唯一出場

杜陵高美術・イラスト部の5人

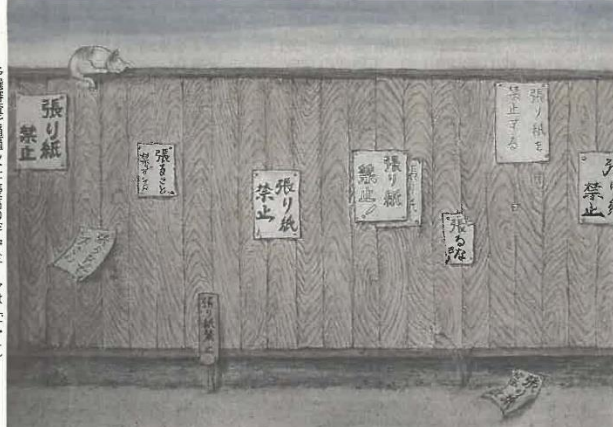
盛岡市上田の杜陵高等学校・イラスト部（佐藤健部長、部員11人の生徒5人は、8月6、8の両日に高知県で開催される第32回全道高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）に、本県で唯一出場する。県内外210校が参加した予選審査では、「ナゾ」のテーマに沿った二枚の漫画で、本選出場の資格を得た。2年連続3回目の出場で、前年は規定の最小人数（8人）で本選に臨んだ佐藤部長（定時制3年次）は「今年は、描き込む、手」は十分にある。5人で参加できることを楽しみながら、入賞を目指したい」と気負込む。本選では、当日発表されたテーマに添い、二つの作品をチームで作るという。



高知県で開催される「まんが甲子園」に向けて、作品の構えを練る佐藤部長（左から3人目）ら。杜陵高美術・イラスト部の生徒。

「まんが甲子園（高時制3年次、分担し知県、まんが甲子園）として作品を仕上げ、藤田佐推進協議会主催は、えりかさん（同一年1992年に始まった）、藤原心珠さん、高校生を対象とした漫画（同、門脇和音さん画の全国大会。生徒8、（同）の5人。5人チームとし、予選を突破した作品は、B4サイズの一は、何枚かの「二枚の紙」の作品で競い合う。禁止の紙が、本場のあつらひに貼られているという矛盾は、作画を阻んだ佐藤部長とアイディアを出した立瀬知季さん（定時制3年次）と相談し、昭和

「矛盾」描いた作品で予選突破 本選でも各自の役割果たす決意



予選審査通過した杜陵高の作品（テーマは「ナゾ」）

和の雰囲気を出したか、原さんは「原画を完成させた」と立瀬さん。そこに再現できるように、の意図に佐藤部長が応、鎌田さん「先陣が作え、具象的な表現を取り上げた世界観を大事に入れながら本場のあつらひに貼った」と、役割を各々を作画。場の上果たす思いだ。目録か、にいるのは「場を和らげたい」という人ませるとともに、目録がアイディアを凝らし、の変化を狙った」と話。審査員の心を引く一枚を自指す。

本選には、いいねラッパのほいで開か！光源氏くん、なぞのれ、1日目の第一試合、人気作品がある漫画家2日目の第一試合（上）えすとえむさんらから位10作品が出場）の各、審査員として参日でも、「新ルール」加、本選大会の様子はなごうの出題テーマ「ニコニコ生徒送（2）」からその日のテーマが「outTube」になり発表される。出場チームは、同校の金井保彦美術△は5時間半の制限時間内、予選作品の4倍の大きさのB2サイズ、全国の33校は選ばれたの紙に協力して描き、一人ひとりの個性や素佐藤部長らは、どの直さなを生かしながテーマが出題されてもら楽しんできてほしい対応できるように準備している」と話。

※ 盛岡タイムス 2023年7月29日付 この記事は盛岡タイムス社の許諾を得て転載しています。

